



➡ 「スペイン語体験講座」のお知らせ ～スペイン語を学ぼう！！～

今年も、スペイン語体験講座が始まります。スペイン語は、国連憲章が規定する国連の公用語の一つであり、母語話者数は、約4億7千万人、中国語に続き世界第2位です。スペイン語は、特にラテンアメリカ地域で広く用いられ、使用する国家や地域は20以上にものぼります。

担当講師は日比谷高校で3年目の御担当で、日比谷生が大好きな素晴らしい先生です。積極的に参加してください！！

対象	1、2年生 スペイン語にふれてみたいと考えている生徒 初めてスペイン語を習う生徒 ※ <u>通年で講座に参加できる人</u>
内容	スペイン語の基礎知識や、スペイン語圏の国々の習慣・文化に関する知識を深める
場所	LL 教室
日程	土曜日、全15回 13:00～15:00

6月	16日、23日、30日
7月	14日
9月	15日、29日
10月	6日、13日、27日
11月	3日、10日、17日
12月	15日

講師	先生
教材	『イラストで楽しもう、スペイン語! Imaginatelo!』 ¥2,430 (税込) 6月15日(金) 昼休み(12:50-13:15) に生徒ホールで販売。

締め切り迫る!

申込みは 6月14日(木)17時まで。LL 準備室前にある申込書を提出してください。

➡ 5月25日(金) 「アフリカの最新状況 ～食料事情の観点から～」

今年で4回目を迎える中垣氏のアフリカの食料事情についての講演会が行われた。世界を飛び回る大変お忙しい氏に、とても貴重な時間をいただいた。毎年この講演を通して、ボストン・ニューヨーク海外研修派遣メンバーの問題意識がグッと高まってくる。今年は例年よりも約1ヶ月ほど早く講演をお願いし、提言作成への取組を早い段階で加速することができた。

御用意いただいた資料は23点にもおよび、それらすべて食料問題を多角的に考える上で、大変有用なものばかりである。中には、中垣氏が御自身で撮影された、アフリカのある地域の中産階級に特有な家庭料理などの写真なども数多く示されていた。インターネットを駆使しても、ここまで詳細に現地に根差した資料を見つけることは至難の業でしょう。

中垣氏の御講演で毎回驚かされるのは、その資料の多さに加えて、毎回講演の内容がアップデートされることである。文字通り世界を飛び回り、常に現場の最前線で仕事をされている方なので、情報の鮮度が高く、実相を映し出す物ばかりである。これらの資料を読み込むことで、提言の質が高まっていくはずである。

前半は世界全体の食料経済の現状について、そして後半は特にアフリカの食料事情についての御講義をいただいた。

アフリカの食料状態というと、いわゆる慢性的な飢餓状態を安易に想起してしまうが、問題はより複

雑化しているという。いわゆる所得の格差や、国家間の格差はますます広がり、分配の不均衡という問題もさらに深刻化している。また、食料問題は単に食料を確保する、というのではなく、民族の食文化や習慣に合致するという視点も同時にもつことが必要である、というお話もいただいた。また、食料確保のみに先鋭的になってしまうことで、健康問題を置き去りにする危険性があり、それはかえって問題を拡大する側面もあるという。食料不足を解決する、ということは実にさまざまな視点が必要となる。

食料の生産の基礎条件である土地の確保についてもお話をいただいた。耕地を確保するために、土地の開墾が必要となるがこれが実は難しい問題である、とのことだ。広大な大地を短期間に開墾することは、技術的に可能だとしても、その土地の生態系を崩してしまい、それに付随した新たな問題も生じることから、結果的に生産の向上につながっていかないことがあるようだ。生態系を考慮せずに、やみくもに耕地を確保することは問題解決にはつながらない。アフリカにとって農地の開発は大きな問題であるが、国によっても地理的条件が異なり、包括的な解決策を俄かに見出すことは至難の業であるとのお話をいただいた。

日本は*CARDにおける JICA の成功例など、アフリカの農業問題において日本の機関が着実な成果を上げているケースがある。我々が実効性のある提言を行っていくことが、この問題についての大きな力になるとのお話をいただいた。また、「提言は、実効性のない大きなものにならないように、そして局所的対応になってしまうような小さなものにならないようにすることが非常に大変だが、調査をしっかりと行って、掘り下げることのできるテーマを見つけられることを期待しています」との励ましをいただいた。

※ CARD について

アフリカにおけるコメ生産拡大に向けた自助努力を支援するための戦略（イニシアティブ）であると同時に、関心あるコメ生産国と連携して活動することを目的としたドナーによる協議グループで、サブサハラ・アフリカのコメ生産量を 10 年間で倍増することを目標としている。JICA（独立行政法人 国際協力機構）は CARD を牽引していく機関として、世界の多様なパートナーと共にアフリカの食料安全保障を支援しており、着実な成果を上げている。（参考 JICA HP :

<https://www.jica.go.jp/mobile/activities/issues/agricul/approach/card.html>)

▼ 7月2日（月）「税制について考える」講演会 ～こんな制度、どう思う？～



昨年引き続きの開催です。税金は身近な存在ですが、その仕組みや意味についてしっかり考える機会は少ないものです。この講演会では、税の専門家に税金についてのレクチャーを受けながら、実際にグループで意見交換をしながら、税金、税制について考えていきます。講演会はとかく一方通行になりがちですが、今回は参加型のものです。昨年は「ドギー税の導入」というテーマで行われました。ぜひ参加してください。

申し込みは、LL 準備室の前に申し込み票がありますので、ルーム名と名前を記入してください。定員は 40 名です。締め切りは 6 月 29 日です。

講演者プロフィール